

# 知って備える 防災メモ

第14回



## ●地震・津波の情報を確認したら

気象庁では、ある地域で地震が発生し、その最大震度が5弱以上になると予想した場合に、震度4以上の揺れが予想される地域に向けて、テレビやラジオ、携帯電話などで『緊急地震速報』を発表します。



この情報を見聞きしたら、直ちに地震から自分の身を守る行動を取ってください。



また、大津波警報（特別警報）や津波警報が発表されたら、すぐに海から離れ、市が指定している高台避難場所などへ避難してください。

## ●地震が起るメカニズム

私たちの住む日本は、世界の中でも地震の多い国の一つです。

日本は『ユーラシアプレート』と『北米プレート』と呼ばれる二つの陸のプレートの上に存在しています。また、太平洋には『太平洋プレート』と呼ばれる海のプレートがあり、この海のプレートが陸のプレートの下に潜り込むときに地震が発生します。また、このとき日本海側でも陸のプレートにゆがみが生じ、地震が発生させることがあるので全国各地へ行って地震から逃れることができます。



## 問い合わせ

総務グループ

(☎) 05-11130

人が輝き まちがときめく

# 仲間たち

Group

## わらべ歌の会

『わらべ歌の会』は、平成20年に登別ときめき大学の活動の一環として発足し、平成22年から独立したサークルとして活動をしています。

現在60人のメンバーで月に2回、火曜日の13時30分から15時まで市民会館を会場に、毎回歌の練習に手遊びや発声練習を交え、楽しく活動しています。

「わらべ歌を歌っていると、自分が育った環境や小学校の学芸会など、子どもの頃のことを思い出し、懐かしくなります」と話すのは、友人に誘われて5カ月前から活動に参加しているという丸山美恵子さん。活動はとても楽しく、毎回休まずに参加しているそうです。

代表の小笠原寿恵さんは「気



▲伴奏に合わせて歌の練習

を張らない、和やかなサークルを目指しています。みんな帰りがけには笑顔になっていて、次の活動にも元気な姿を見せられます」と語ってくれました。

「家から一歩外に出て、みんなと一緒に歌えば一緒に元気になるのも防げます」という小笠原さんの話のとおり、練習時にはメンバーの元気な歌声が響いていました。

同会では『幌別地区チャリティー市民演芸会』にも出演し、普段の練習の成果を発表する場としています。昨年からは若草つどいセンターでも活動しており、会員を募集しています。

見学を希望する方は小笠原さん(☎)05-7720)まで。

みんなで一緒に歌って  
一緒に元気になれます



## 取材先での人との触れ合いが新鮮で楽しい

「フリーペーパーの制作を通し、取材先のお店の方から普段は聞けないお話を聞いたり、駄菓子や飲み物をいただいたり、触れ合いが新鮮で楽しかったですね。皆さん、取材に快く協力してくださって感謝しています」と話す安藤彩さん。

安藤さんが編集長を務めたフリーペーパー『KuuKee』は、これまで、札内町の自然体験観光を特集した昨年夏の第1号から、駄菓子店や経営者の表情などを取り上げた第2号、銭湯を紹介した第3号まで発行されています。

「フリーペーパーの制作は学生の誰もが初めての経験で、テーマや取材内容、紙面構成を考えるのも手探りでした。学生が行きやすく、これまで新聞や雑誌などで紹介されたことが少ないものを中心にテーマを選びましたが、札内町の自然体験観光の取材では、学校の近くに、乗馬を体験しながら太平洋や来馬岳など登別の雄大な景色を楽しめる場所があったのかと学生にとってもこの地域の魅力を発見する良い機会になりました。完成したフリーペーパーを取材先に届けると、皆さん喜んでくれて、

## もっと人が集まり、にぎやかなまちに

卒業と就職を控え、安藤さんは間もなく登別を離れます。

「取材でまちを歩くことがなかったら、登別での短い学生生活を学校や買い物に行つて帰るだけで終えていたと思います。取材を通して、登別にも頑張っている方がたくさんいることが分かりましたし、もっと人が集まり、にぎやかなまちになったらいいなと思いました。これからも、地元の方にも興味や関心を持って読んでもらえるフリーペーパーであってほしいですね」と、編集を引き継ぐ後輩にエールを送る安藤さん。

登別での思い出を胸に、新たな生活のスタートを迎えます。



▲日本工学院北海道専門学校の学生が制作したフリーペーパー『KuuKee』



KIRARI

あん どう 安藤  
あや 彩さん(千歳町)

札内町の日本工学院北海道専門学校では、CGデザイナー科とゲームクリエイター科の全ての学生が、出版やアニメ制作、ゲーム制作など、計6つの課外活動から自分の興味・関心のある分野を選択し、参加しています。

このうち、出版のグループでは、学生8人が昨年夏からフリーペーパー『KuuKee』の制作を行い、学生の視点で地域の魅力を発掘・紹介しようと、企画づくりや取材、編集作業に意欲的に取り組んでいます。

編集長を務めた同校CGデザイナー科2年の安藤彩さんに、取材を通して感じた地域の魅力や制作の感想などを聞きました。

## 地元の方にも興味を持ってもらえるフリーペーパーを



平成5年、帯広市生まれ。20歳。

将来は絵に関係する仕事がしたいと、平成24年4月、親元を離れ、日本工学院北海道専門学校CGデザイナー科に入学。2年間の登別での学生生活を終え、4月から札幌市内の写真関連企業に就職する。